



スマスロも設置している



パチスロルームは元々展望台。天気良ければ絶景を望める



オールインクルーシブで、チェックインから飲み放題開始



うまい棒も食べ放題。さまざまな味を準備するのこだわり



SNSで注目を集めたパチスロルーム

和倉温泉はまづる（石川県七尾市） パチスロ愛が復興を後押し SNSで“バズった”パチスロルーム付き温泉旅館

2025年9月、Xで一つのポストがパチスロユーザーの注目を集めた。最新の6号機や5号機の名機が目を引くパチスロルーム。設置しているのは自宅ではなく、旅行先として人気の温泉旅館の中だという。この斬新な試みには、温泉旅館×パチスロで被災地を元気づけたいという願いも込められていた。



25年9月のポスト。業界内で話題になった

続きはデジタルブックで
ご覧いただけます。

詳細はこちら▶

メントが付くほどの反響があった。「まさか、こんなことになるとは思っていませんでした。もともと半分趣味でYouTubeのパチスロ配信などもやっていましたが、こんなにも注目されることはなかったで(笑)」(高城専務)なぜ温泉旅館にパチスロルームを作ろうと思ったのか。高城専務はこう語る。「社会人として働き始めてからパチスロにハマって、地元を出てパチプロをやっていた時期があったんですけど(笑)当時は、『大花火』や『サンダー』、『バイオメシア』とかですかね。イベントもありましたし、店長の癖とかを見抜くのも好きだったんで勝っていました。地元に戻ってきて親から焼肉屋を継いだ後も、パチスロは好きだったので『この台よく打ってたな』と個人的に集めるようになりました。まだネットで台を買う時代ではなく、パチスロ雑誌の後ろの方に載っていた台

の販売の広告的なものを見て買ってましたね。紆余曲折あって旅館を経営することになってからは触れることも少なくなりましたが、5年ほど前に健康増進法の関係で館内でお酒が飲めるバーラウンジを喫煙可能スペースにしたんです。その時にふと集めていたパチスロ台のことを思い出して、動作チェックも含めてバーラウンジに設置してみたら『この雰囲気合ってるな』と。そこで当時持っていた6台を設置し始めたのが最初のきっかけです」薄暗い雰囲気も相まって「パチスロが映える空間だった」という。その当時は4号機の『ウルトラマン倶楽部』や『ダブルインパクト』などを設置していた。「バーラウンジが割と広いので、6台だけだとまだスカスカなんです。そこでもうちょっと置こうかなって、自腹でちよつとずつ増やしていったら、いつの間にか増えすぎちゃって(笑)それで

開湯1200年という歴史を誇る、石川県内有数の温泉地・和倉温泉。はまづるは2026年で創業16年目を迎える、和倉温泉の旅館の中では比較的新しい旅館だという。この旅館を支えるのが高城一博専務。館内の業務はもちろん、はまづるの魅力を広げようとSNSの運用までこなしている。25年9月、Xの一つのポストがバズった。温泉旅館の公式アカウントにも関わらず、そこには名機が揃ったパチスロルームの写真がアップされていた。そのポストは600万インプレッションを超え、1万以上の「いいね」、100件以上のコ



高城専務